

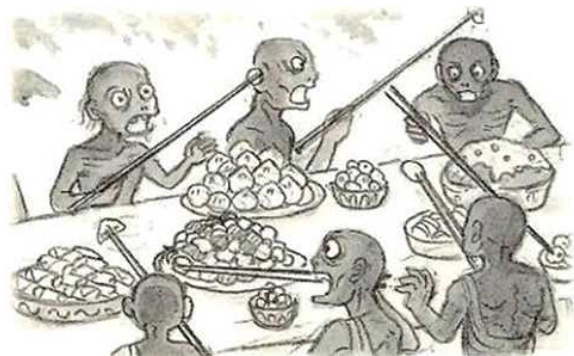
今日は、先生が以前聞いたお話しを皆さんにも伝えたいと思います。
「三尺三寸の箸」というお話です。

来週から人権週間になります。人権って言う言葉、聞いたことある人はいいますか？人権って言うのは人の権利と書きます。人が生まれたときから誰もが持っている権利のことで、それについて見直していこうというのが来週です。そして、今日は、それにちなんだお話をしたいと思います。

お箸はみんな使ったことあるよね。それが三尺三寸ってわかりますか。日本の伝統的な長さの単位です。それで、三尺三寸というと、約1mですこんなに長い箸が使えるかなあ。

むかし、ある男がえんま大王様に会いに行き、天国と地獄というのは、どういう世界なのかを聞きました。すると、えんま大王様は、男に、天国のようすと地獄のようすをそれぞれ見せてくれました。

まず地獄では、ちょうど食事の時間だったので、人々が、ながーいはしを持って大きなべの前にあつまっていました。この地獄では、ながーいはしで食事をしなければならない決まりなのです。人々はながーいはしで、なべの中のごちそうをとって食べようとするのですが、あまりにながーいので、どうしても自分の口にごちそうがとどきません。それでみんな、何も食べられずおなかをすかせ、やせこけて、他の人の食べ物を横取りしようとしてけんかばかりしていました。



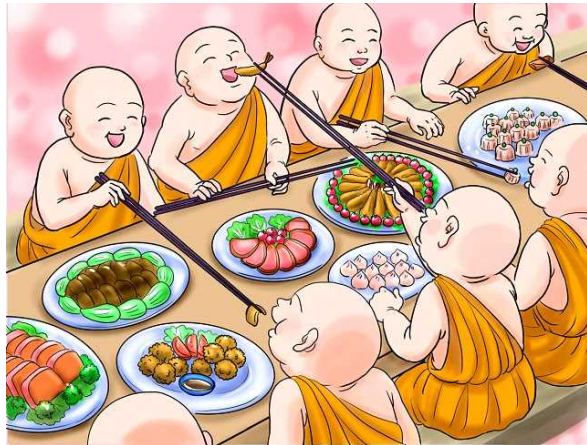
えんま様は、次に天国を見せてくれました。天国も食事の時間でしたので、人々は、地獄のと同じ、ながーいはしをもって、地獄のと同じ、大きなべの前にあつまっていました。天国でも、ながーいはしで食事をしなければならない決まりなのです。

○天国でも同じようにけんかになっているのでしょうか？

天国の人々は、おだやかな顔をして楽しそうにごちそうを食べていました。

○地獄とは違うようですね。どうして？

○では、天国では、どうやってたべていたのでしょうか？



ながーいはしで、おたがいに仲良く他の人とごちそうを分けあっているのです。天国の人たちは、ながーい箸でご馳走をはさむと、「どうぞ」と言って、自分の向こう側の人に食べさせ始めたのです。にっこりほほ笑む相手は、「ありがとうございました。今度は、お返ししますよ。あなたは、何がお好きですか」と、自分にも食べさせてくれました。

こうして地獄にいる人々は自分のことばかり考えているために、いつまでもけんかをして何も食べられず、天国の人々はおたがいを思いやっているのです。仲良くくらせるのだ、とえんま大王様が教えてくれました。

こんなお話です。どうでしたか。皆さんも自分のことばかり考えて、人のことは考えずに言ってしまうたり、行動してしまうたりすることがありませんか？

今、ニュースで国同士の争いごととか、人間同士が憎しみ合っているというんなニュースがたくさんあります。そんなときでも、相手のことを思いやって生活できれば、そんなことはなくなるんじゃないでしょうか。

相手のことを思って生活することで、みんなが幸せになれると思います。まずは、小さくてもよいので自分ができることをやっていきましょう。